

9月4日

防災給食

平成23年3月11日に起きた東日本大震災から、
約1年半が過ぎました。

2学期最初の給食は、防災給食です。調理員さんが給食室で、一生懸命に約600個のおにぎりを握ってくれました。今回のおにぎりは、水道水が使えなくなった事を想定して、必要最低限の水を使用しています。又、食事前に十分な手洗いができなくなってしまう事も想定して、1個ずつラップで包んだ、シンプルな梅干し塩むすびにしました。

最近では、5月19日に我孫子市でも断水があり、水のありがたさを再確認しましたね。

今日の給食には、うどん、茹で卵、バナナが付いていますが電気、ガス、水道、食料の配送等のライフラインが止まった場合は、このような献立も作れなくなります。

私たちが、日常の中で毎日の食事をとることは、決して当たり前の事ではありません。今日は、いつもより質素な献立ではありますが、日々の食事に感謝の気持ちを持ち、食べて欲しいと思います。



生徒たちの様子

- 初めてゆで卵の皮を剥いた生徒が多かった。
- シンプルなおにぎりだが、調理員の手作りに感謝しながら、食べていた。
- 見た目より、食べるとボリュームがあったようだ。

○これからも、給食の時間や食体験等を通じて、食育を啓発していきたいと思います。